

据付およびカスタマイズ

NetShelter™ HSキャビネット

AR9300SP

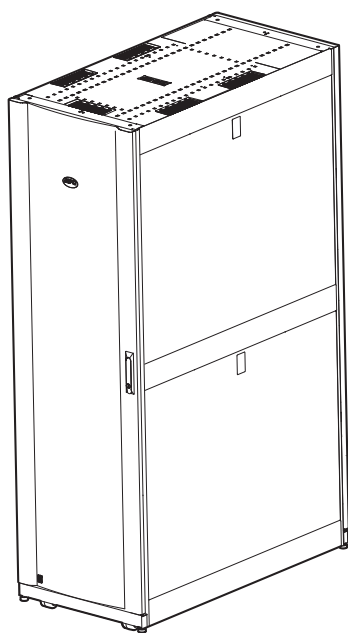
AR9387SP

AR9307SP

AR9180SP

990-5893-018

発行日：8/2017



Schneider
Electric

Schneider Electric法的放棄声明

本書に記載の情報は、Schneider Electricが信頼性、無誤謬性、完全性を保証するものではありません。本書は、詳細な操作手順および用地独自の開発計画書の代替として意図されたものではありません。従って、Schneider Electricは、本書の使用に基づいて発生する可能性がある損傷、法規違反、据付の誤り、システム障害、またはその他の問題に対する責任を負わないものとします。

本書に含まれる情報は「現状通り」で提供されるものであり、データセンターの設計および建設の目的のみに対応しています。本書はSchneider Electricにより作成されましたが、含まれる情報の完全性または正確性に関して、明示または黙示に関わらず表明するものでも保証するものでもありません。

SCHNEIDER ELECTRIC、またはその取締役、役員、代理人、従業員、会員、親会社、子会社および支社はいかなる場合も、**Schneider Electric**がそれらの損害の危険性を明確に助言した場合でも、本書またはその内容の使用または非使用に関連した、またはその結果生じた取引、契約、収入、データ、情報の損失または事業の中断を含むがこれに限定されないあらゆる直接、間接、必然的、懲罰的、特別または付随的損害に関して責任を負いません。**SCHNEIDER ELECTRIC**は、本書またはその形式に関して、またはその内容を事前に通知することなく変更または更新する権利を保持します。

ソフトウェア、オーディオ、ビデオ、テキストおよび写真を含むがこれに限定されない内容物の著作権、知的所有権、およびその他の所有権はSchneider Electricおよびそのライセンサーが保有します。本文に保証を明記されない内容物に関するあらゆる権利を保有します。あらゆる権利のライセンス付与または譲渡は認められません。また、本情報を取得した人物への権利の許可も認められません。

本書の一部または全部の再販は禁じられています。

目次

安全に関する重要な注意事項	1
はじめに	2
キャビネットの開梱	3
免責条項	3
受領確認	3
リサイクルのお願い	3
ラベル	3
各部の構成	4
キャビネット	4
金具	5
付属の工具	5
キャビネットの据付	6
キャビネットの移動	6
装置の水平調整	7
キャビネットの連結	7
キャビネットの固定	8
キャビネットの接地	9
キャビネットのボンディング位置	9
サイドパネル、天板、ドアの取り付け	10
サイドパネル	10
天板	10
ドアの取り外し	11
ドアの取り付け	11
前面ドアの開く向きを逆にする	12
機器の取付	14
19インチマウンティングフレームの調整	14
19インチマウンティングフレームの位置	14
19インチマウンティングフレームの調整	15
機器の取付	16
機器の取付を行うには、次の手順に従ってください。	16
ケージナット	16
ケーブル用カットアウトカバーの取外し	17
ケーブル管理	18
アクセサリチャネル	18
アクセサリチャネルの調整	19
仕様	20
寸法	20
風量*	20

限定工場保証	21
保証の条件	21
第一購入者の保証	21
適用除外	21
保証の請求	21

安全に関する重要な注意事項

装置の設置、操作、修理または保守を行う前に作業手順をよく読み、装置についてよく理解しておいてください。本マニュアル全体、または装置に示される次のメッセージは、危険性に関する警告を示します。または、手順を明確化/簡素化した情報への注意を促しています。



「危険」または「警告」安全ラベルにこの記号が追加されている場合は、注意事項が遵守されない場合に人体への危害につながる感電の危険性があることを示します。



これは注意記号です。人体への危害の危険性があることを警告します。この記号に続くすべての安全警告に従って、人体への危害や死亡の危険性を回避してください。

⚠ 危険

回避できない場合人体への危害や死亡の危険性がある、直ちに危険な状態を示します。

⚠ 警告

回避できない場合人体への危害や死亡の危険性につながるおそれがある、危険になりうる状態を示します。

⚠ 注意

回避できない場合人体への危害や死亡の危険性につながるおそれがある、危険になりうる状態を示します。

注意

注意記号を伴わない場合、回避できない場合機器の損傷につながるおそれがある、危険になりうる状態を示します。

注意

環境への被害、損害の危険性またはデータの損失などを含む物理的な損害に関わりのない、注意事項を示します。

はじめに

Schneider Electric NetShelter HSキャビネットは、サーバー、音声・データ機器、ネットワーク機器、無停電電源装置など、業界標準（EIA/ECA-310）の483 mm（19インチ）ラックマウント機器を収納する高品質のキャビネットです。

600 mm（23.6インチ）と800 mm（31.5インチ）幅のキャビネットが提供されています。幅800 mm（31.5インチ）キャビネットの場合、オプションのマウンティングレールを使用すると、23インチのEIA/ECA電気通信機器を取り付けられます。

キャビネットを降ろすには、ランプ（AR9000RAMP）を購入する必要があります。

キャビネットの開梱

⚠ 警告

転倒注意

- このキャビネットは重量物ですので、開梱時または移動時には転倒に十分注意してください。
 - キャビネットを開梱して移動するには、少なくとも4人必要です。
 - 安定性を確保するため、キャビネット底部に少なくとも158 kg (348 lbs) の機器を積載した後にキャスターでの移動を行ってください。
 - キャスターで移動する場合:
 - アジャスタ脚を確実に上げます。
 - 移動中はキャビネット側面に立ち、ものをキャビネットの前に置かないでください。
 - キャビネットは前後にのみ動かしてください。キャビネットを横移動させないでください。
- これらの指示手順に従わない場合、人体の重大な損傷、死亡または機器の損傷につながるおそれがあります。

⚠ 警告

重量物の危険

- 設置場所がキャビネットおよび静荷重の重量を構造的に支えることができるか確認してください。「仕様」(20ページ)
 - アイボルトまたは他の手段でキャビネットを持ち上げないでください。
- これらの指示手順に従わない場合、人体の重大な損傷、死亡または機器の損傷につながるおそれがあります。

キャビネットの説明書に含まれている緩衝材の開梱ガイドを参照してください。

免責条項

製品の再輸送時に損傷が発生した場合、Schneider Electricはこの製品を保証しません。

受領確認

梱包と内容物が輸送時に損傷していないか確認します。すべての部品に問題がないか確認してください。損傷が見られる場合は、直ちに輸送会社に連絡してください。内容物の不足、破損、その他何らかの問題がある場合は、Schneider Electricまたは販売店にお問い合わせください。

リサイクルのお願い

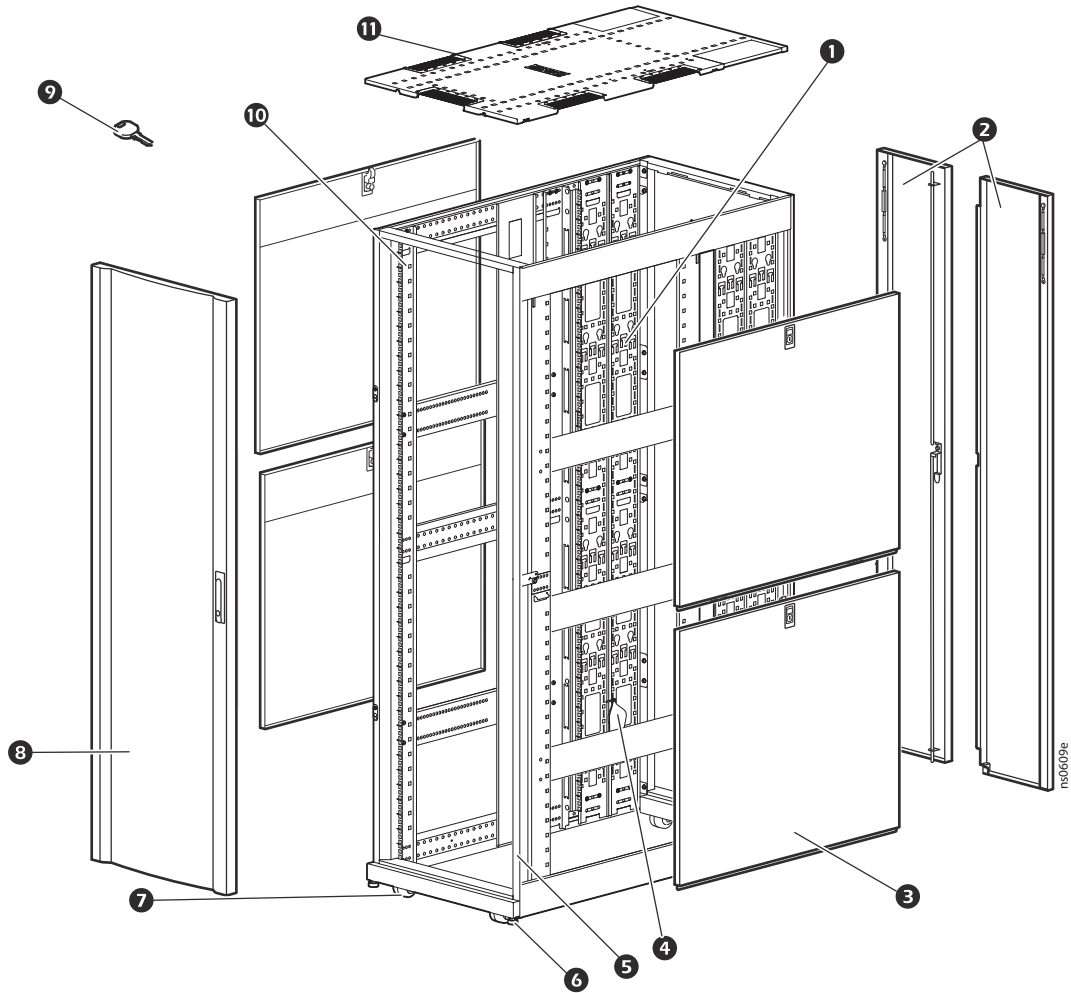
製品の梱包器材は再利用することができます。保管して後ほど利用するか、または適切な手段で廃棄するようお願いいたします。

ラベル

キャビネットに貼られたラベルに記載されている、安全に関する注意事項も確認してください。詳しくは、「ラベル」(6ページ)を参照してください。

各部の構成

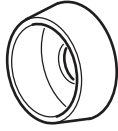
キャビネット



- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ① 0U垂直アクセサリチャンネル（調節可能）* | ⑦ キャスター |
| ② 観音開き背面ドア（着脱可能） | ⑧ リバーシブル前面ドア（着脱可能） |
| ③ ロック付きサイドパネル（着脱可能） | ⑨ ドア/サイドパネル鍵 |
| ④ 金具入れ（ページ5を参照） | ⑩ 19インチマウンティングレール |
| ⑤ キャビネットフレーム | ⑪ 天板 |
| ⑥ アジャスタ脚 | |

* 奥行1200 mm（47.24インチ）キャビネットには4つの0U垂直アクセサリチャンネルがあります。

金具



プラスチックカッ
プワッシャ
(60個)



M6×16プラスネジ
(60個)



M5 × 12
ネジ (4)



ケージナット
(60個)



7 mm (0.28インチ)
ホールプラグ (4個)

付属の工具



ケージナット用ツール (1個)

キャビネットの据付

キャビネットの移動

⚠ 警告
転倒注意 <ul style="list-style-type: none">このキャビネットは重量物ですので、開梱時または移動時には転倒に十分注意してください。キャビネットを開梱して移動するには、少なくとも4人必要です。安定性を確保するため、キャビネット底部に少なくとも158 kg (348 lbs) の機器を積載した後にキャスターでの移動を行ってください。キャスターで移動する場合:<ul style="list-style-type: none">アジャスタ脚を確実に上げます。移動中はキャビネット側面に立ち、ものをキャビネットの前に置かないでください。キャビネットは前後にのみ動かしてください。キャビネットを横移動させないでください。 これらの指示手順に従わない場合、人体の重大な損傷、死亡または機器の損傷につながるおそれがあります。

⚠ 警告
重量物の危険 <ul style="list-style-type: none">設置場所がキャビネットおよび静荷重の重量を構造的に支えることができるか確認してください。「仕様」(20ページ)アイボルトまたは他の手段でキャビネットを持ち上げないでください。 これらの指示手順に従わない場合、人体の重大な損傷、死亡または機器の損傷につながるおそれがあります。

ラベル。キャビネットには図のようなラベルが貼られており、それぞれ次の情報を示しています。

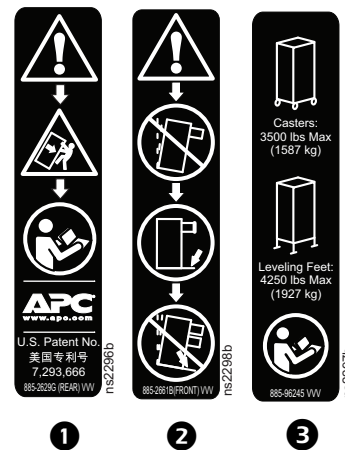
ラベル①：全般的な転倒注意

ラベル②：追加のスライド式取付金具を1箇所に取り付けた場合

キャスター。キャビネットに付属のキャスターで、最大1588 kg (3500 lb) の機器を搭載して移動させることができます。所定の場所に配置したら、アジャスタ脚を下げてください。アジャスタ脚を下げた固定キャビネットには、1928 kg (4250 lb) まで積載できます。

注意:キャビネットの一部のラベルには、キャスターに関する注意事項が示されています。

ラベル③ アジャスタ脚およびキャスターの重量しきい値を参照してください。



装置の水平調整

機器隅部に取り付けられているアジャスタ脚により、床面が均一でない場合に基底部の安定は得られますが、傾斜がひどい場合の調整はできません。

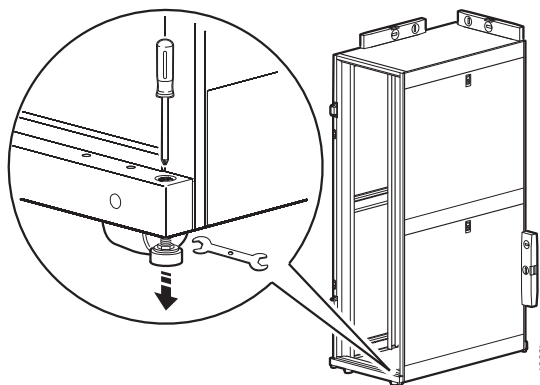
計画した位置にキャビネットが配置されているか確認してください。前面および背面ドアを取り外します。手順については、「ドアの取り外し」(11ページ)を参照してください。

注意：前面ドアを取り外す前に、ドアの取り外しの妨げとなるおそれのある接地ワイヤとその他のワイヤ接続を取り外してください。

アジャスタ脚のすぐ上のネジにプラスドライバーまたはマイナスドライバーを差し込みます。ネジを時計方向に回し、床面としっかり接触するまでアジャスタ脚を伸ばします。注意：この方法は、キャビネットが(ほぼ)空の状態のときに適しています。

注意

- キャビネットに機器が取り付けられている場合は、13 mmのオープンエンドレンチを使用してアジャスタ脚を下げることもできます。
- 13 mmスパナを使用するときは、ドアを取り外す必要はありません。



水準器を使用して、キャビネットが水平および垂直になるようアジャスタ脚を調節します。

その列の他の物にキャビネットを連結する前にドアを取り付けないでください。

キャビネットの連結

位置を揃えて安定性を高めるため、キャビネットは付属の金具で連結してください。キャビネットは、サイドパネルを取り付けていても取り付けなくても、連結することができます。

警告

転倒注意

キャビネットを連結することによる安定性には限りがあります。機器を取り付ける前に、キャビネットが床に固定されているか確認してください。

これらの指示手順に従わない場合、人体の重大な損傷、死亡または機器の損傷につながるおそれがあります。

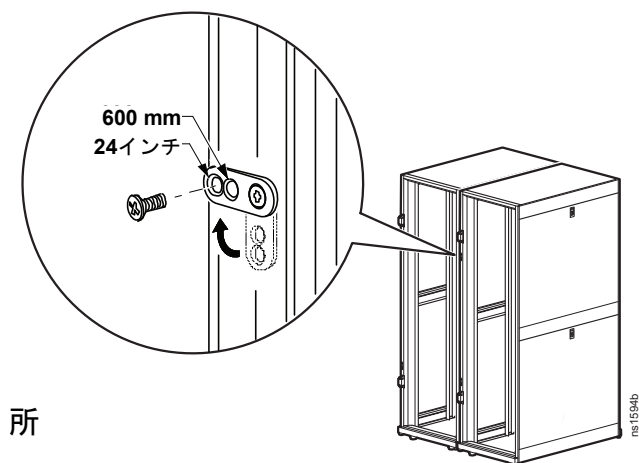
前面および背面ドアが取り付けられている場合は、取り外します。手順については、「ドアの取り外し」(11ページ)を参照してください。

24インチのセンターまたは600 mmのセンターのいずれかを選択します(下記の詳細図を参照)。

キャビネットを整列して結合金具の位置を確認します。各キャビネットの前面に2つ、背面に2つの金具を使用します。

金具入れに付属のM5×12皿ビスを使用して、キャビネットを連結します。付属のツールまた類似のツールの皿ネジを使用して、対象のネジ穴にネジを挿入して締め付けます。

ドアを取り付けます。手順については、「ドアの取り外し」(11ページ)を参照してください。



所

キャビネットの固定

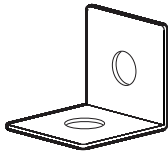
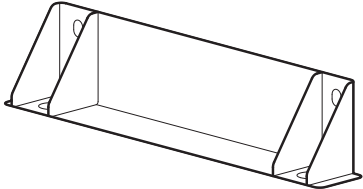
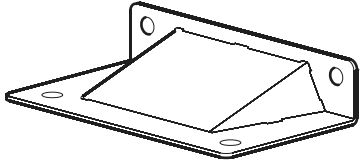
⚠ 警告

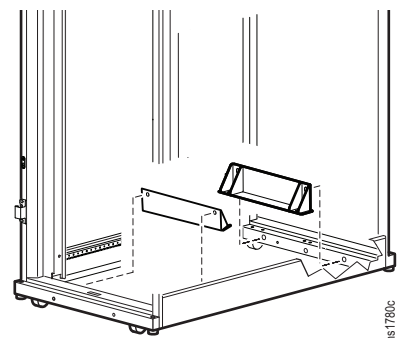
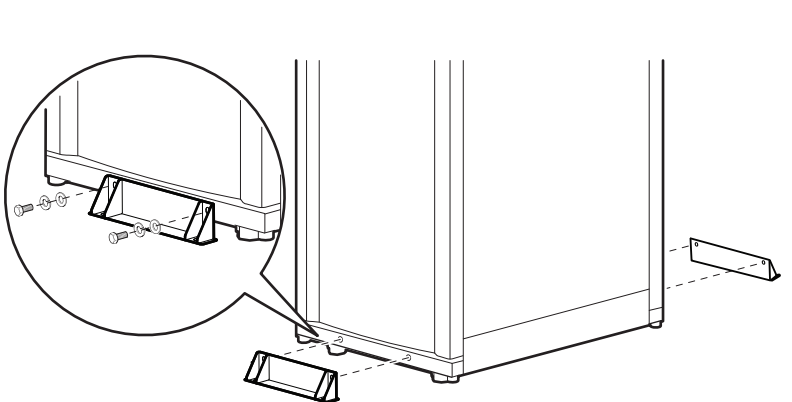
転倒注意

機器を取り付ける前に、キャビネットが床に固定されているか確認してください。

これらの指示手順に従わない場合、人体の重大な損傷、死亡または機器の損傷につながるおそれがあります。

キャビネットを床に固定するには、キャビネットの内側または外側にある留め金具を使用して、下記に記載のアクセサリ（同梱されていません）のいずれかを選択します。

アクセサリ	パーツ番号	説明	
NetShelter SX アンカー固定用 ブラケット	AR7701	キャビネットと床に内側または外側から取り付けて、ケーブルへのアクセスを妨げずに安定性を強化します。ユニットごとに金具が4個含まれます。	
NetShelter SX High Seismic Region & OSHDP ボルトダウンキット	AR7701A-S	キャビネットと床に内側または外側から取り付けて安定性を一層強化します。ユニットごとに金具が4個含まれます。	
NetShelter SX スタビライザ プレート	AR7700	キャビネットと床に外側から取り付けて安定性を一層強化します。ユニットごとにプレートが1枚含まれます。	



ns1780c

キャビネットの接地

⚠ ⚠ 危険

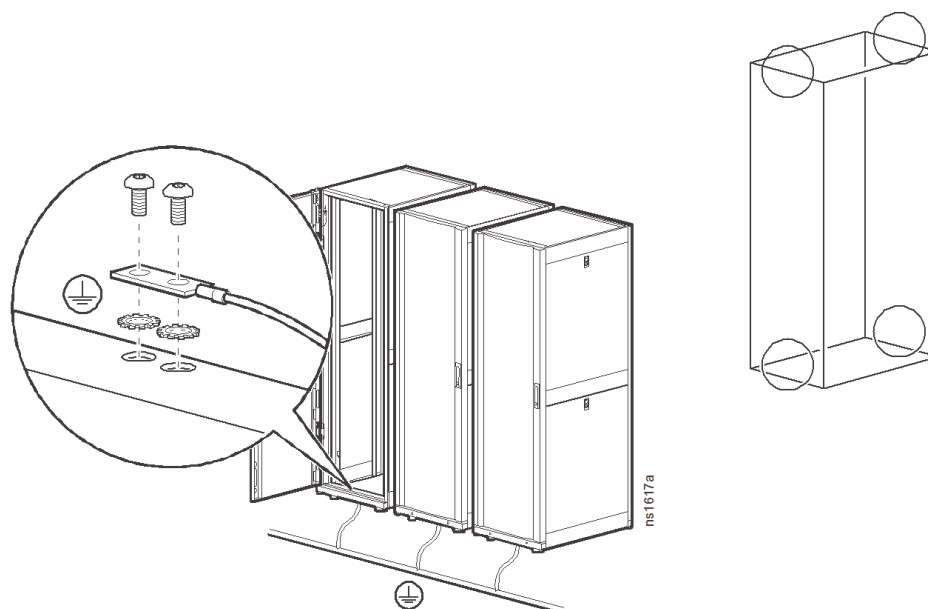
感電注意

建物へのキャビネットの接続には、コモンボンディングネットワーク（CBN）が必要です。
これらの指示手順に従わない場合、人体の重大な損傷または死亡につながります。

キャビネット上部または下部にある接地位置（2個のM6ネジ差込口）を使用して、各ラックを直接共通の接地にボンディングします。

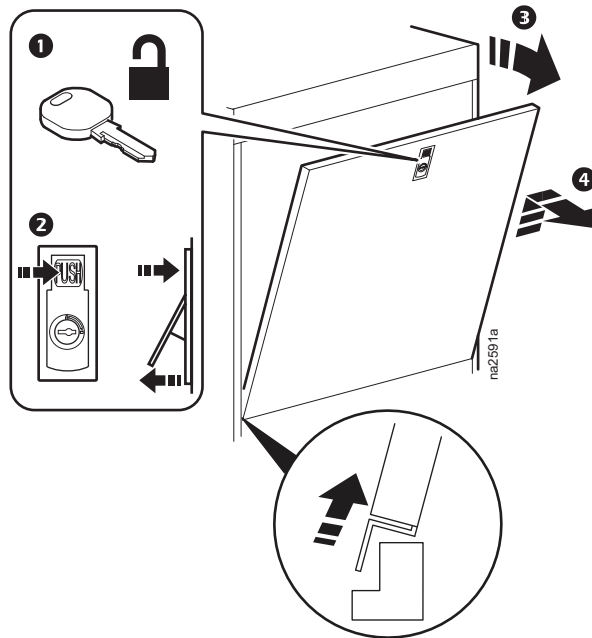
- コモンボンディングネットワークジャンパキット（KDER認証Panduit® RGCBNJ660PYまたは同等の物など）を使用します。
- NEC NFPA 70 Article 250.12に従って、接地終端とキャビネットフレームの間に塗装貫通ワッシャを使用するか、接地終端下のフレームの塗装を剥離します。
- 6.9 N-m (60 lb-in) のトルクでナットを締め付けます。

キャビネットのボンディング位置

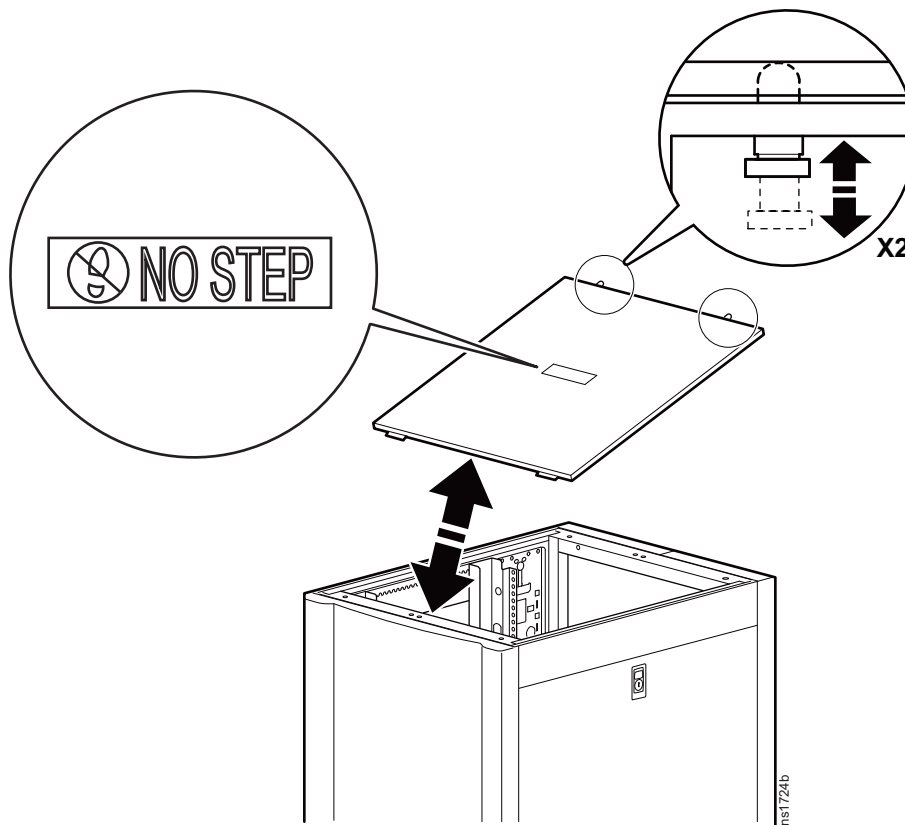


サイドパネル、天板、ドアの取り付け

サイドパネル

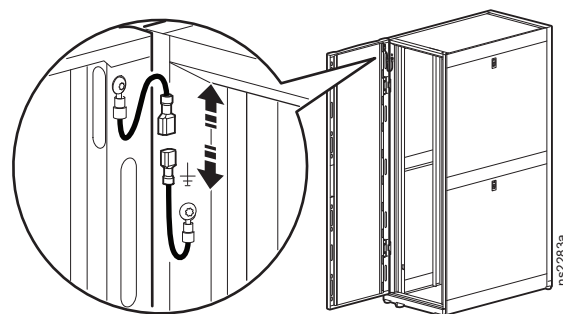


天板

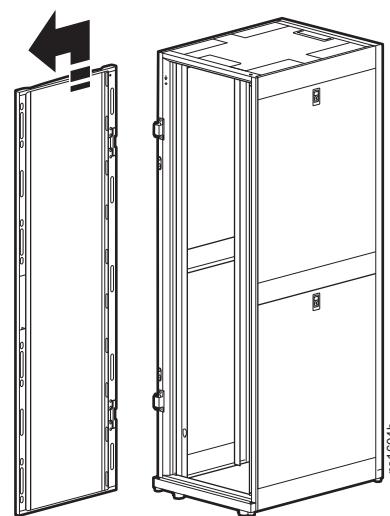


ドアの取り外し

1. キャビネット前面ドアのハンドルをロック解除して、ドアを開きます。
2. ドアを取り外しの妨げとなる恐れのある接地ワイヤとその他のワイヤ接続を取り外して下さい。

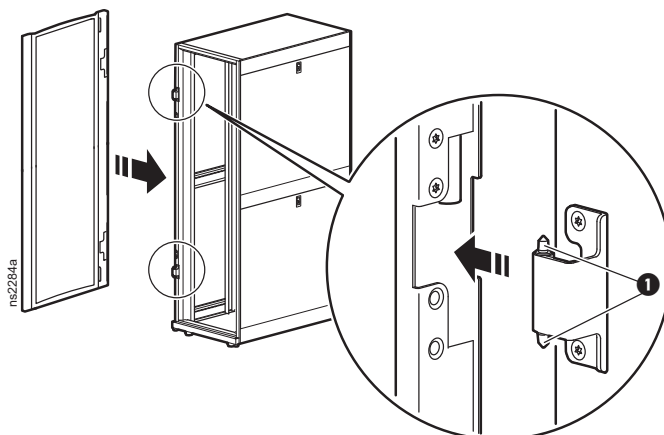


3. ヒンジは、持ち上げて外側に引くと外れます。ドアのヒンジピンがキャビネットフレームのヒンジから外れるまで、慎重にドアを持ち上げてキャビネットから離します。



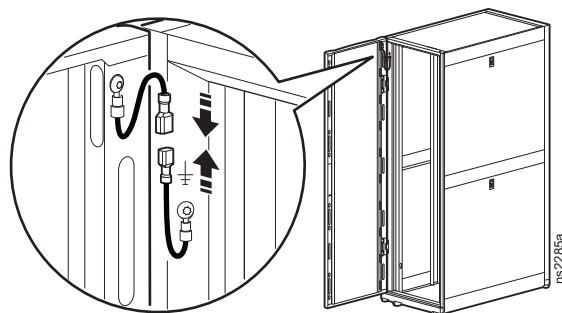
ドアの取り付け

1. 取付が適切であれば、ドアとヒンジピンは自動調節されます。ドアの角度をキャビネット前面に対して90°にして、ヒンジピン①の上にドアを置きます。



2. 慎重にドアをキャビネットフレームに向けて下げます。ドアのヒンジをキャビネットフレームのヒンジに揃えていることを確認します。

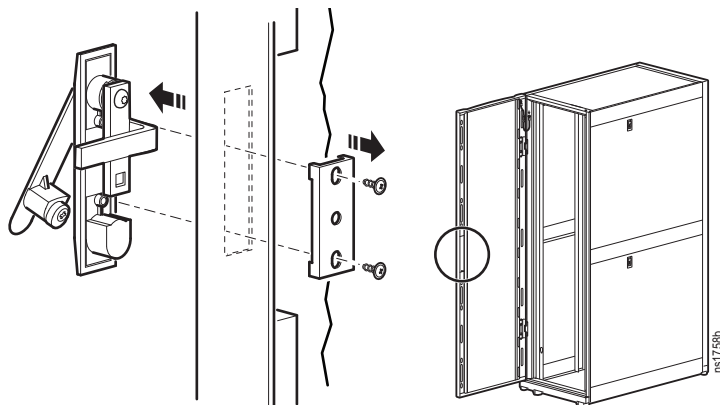
3. 接地ワイヤとその他のワイヤを接続します。



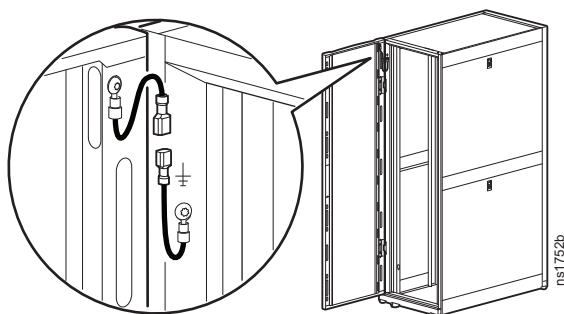
前面ドアの開く向きを逆にする

注意：前面ドアは、開く向きが逆になるように取り付けを変えることができます。下記に記載の手順では、キャビネットに面してヒンジが左にありドアが右から開くものとします。

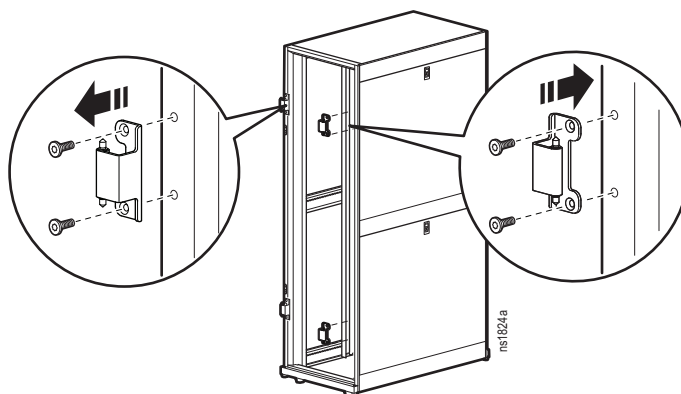
1. ねじ羽子板を取り外して、ハンドルを取り外します。ドアからハンドルを引き出します。



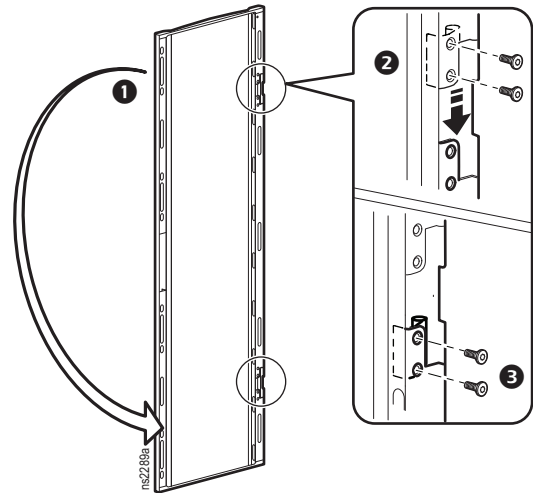
2. 接地ワイヤとその他の接続されたワイヤを取り外します。フレームからドアを取り外します。詳しくは、「ドアの取り外し」(11ページ)を参照してください。



3. キャビネットフレームの上側のヒンジから作業を開始します。ヒンジを正しい位置に保持しているネジ2本を外します。キャビネットフレームのもう一方の側にヒンジを取り付けます。下側のヒンジでもこの手順を繰り返します。



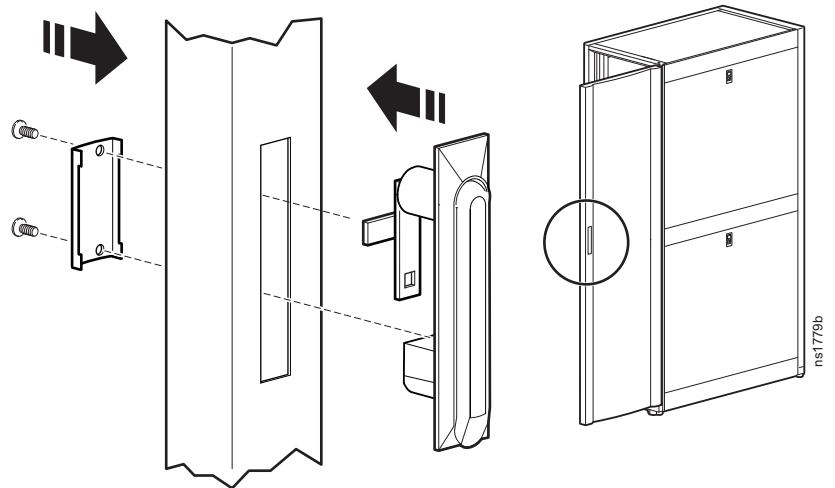
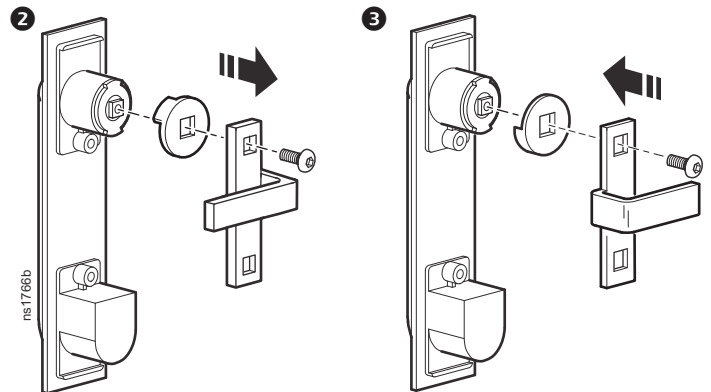
4. ドア①を回転させます。ドアからヒンジ②を取り外し、別の穴③に取り付けます。ドアのヒンジ位置とキャビネットのヒンジ位置が揃っている必要があります。



5. キャビネットフレームの反対側で、ヒンジにドアを取り付けます。手順については、「ドアの取り外し」(11ページ)を参照してください。接地ワイヤと、取り外されていたその他のワイヤを接続します。

6. ロックハンドルの作業を行います。カムネジ、カムワッシャ、カムを取り外します。

カムワッシャを90度、ラッチは180度回転させます。ドアにハンドルを取り付けます。

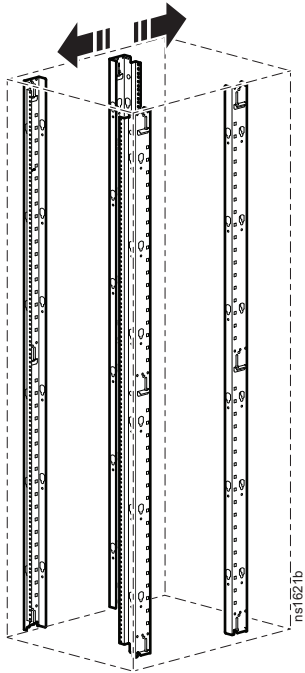


機器の取付

注意：NetShelter HSキャビネットは、基準に適合する機器を使用対象としています。Schneider Electric認証ではない機器を取り付ける場合は、ユーザーご自身で取付構成の安全性を確認してください。

19インチマウンティングフレームの調整

19インチマウンティングフレームは、ラックに取付可能な機器と共に使用するため、737 mm（29インチ）の位置に取り付けられた状態で出荷されています。

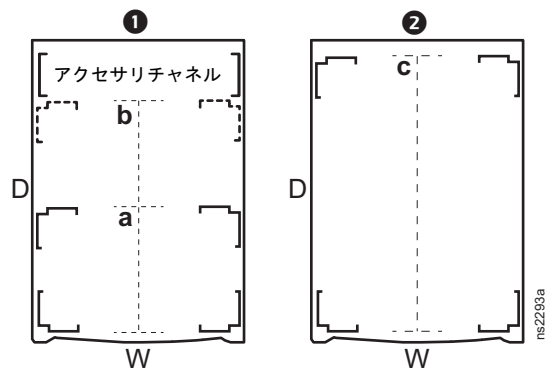


奥行の異なるレールや機器に対応させるため、マウンティングレールはキャビネットの前後にずらして調整することもできます。

幅800 mm（31.5インチ）キャビネットでは、ネットワーク/電気通信機器に合わせてマウンティングレールを476 mm（18.74インチ）の位置に調整するのが一般的です。

19インチマウンティングフレームの位置

- 構成1：アクセサリチャンネルが取り付けられています。
19インチマウンティングフレームは、(a) の最小間隔で取り付けことができ、最大で (b) まで拡張することができます。
- 構成2：アクセサリチャンネルは取り外されています。
19インチマウンティングフレームは、最大で (c) まで拡張することができます。



上面図

キャビネット幅 (W) キャビネット奥行 (D)

		a	b	c
800 mm	1070 mm	288.0 mm (11.34 In)	787.4 mm (31.00 In)	927.1 mm (36.5 In)
800 mm	1200 mm	288.0 mm (11.34 In)	800.1 mm (31.50 In)	1054.1 mm (41.50 In)
600 mm	1200 mm	211.8 mm (8.34 In)	787.4 mm (31.00 In)	1041.4 mm (41.00 In)

19インチマウンティングフレームの調整

⚠ 注意

機器の落下の危険

調整を行う前に、19インチマウンティングフレームに取り付けられた機器はすべて取り外してください。

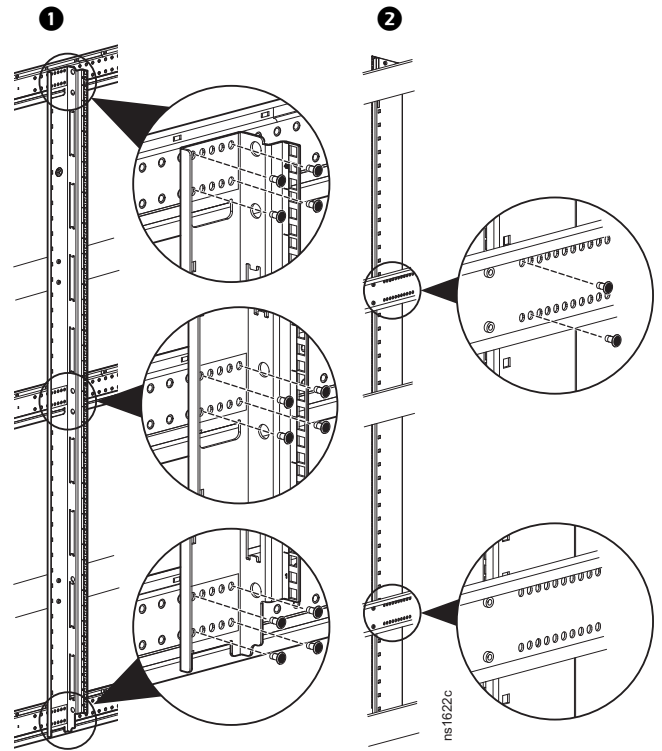
これらの指示手順に従わない場合、人体の重大な損傷または機器の損傷につながるおそれがあります。

1. 19インチマウンティングフレームをその場で保持し、T25トルクスネジを取り外します。

① 各フレームには、各4つのネジに対して内側に3箇所の取り付け場所があります。

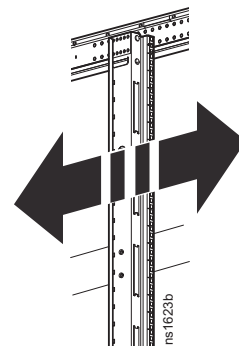
② 各フレームには、水平金具に取り付けられた2個の外側のネジがあります。2個の金具のそれぞれには外側のネジがあります。

注意：この手順では、28-30インチポンドのトルクが必要です。



2. マウンティングフレームを希望の個所まで移動させます。上部、中央、下部でネジの位置が縦に揃っているか確認します。

注意：19インチマウンティングフレームを13 mm (1/4インチ) ずつ調整します。



3. トルクスネジを再度入れて締めます。(手順1の図を参照してください)

① 各フレーム上で、3箇所の内側のネジ位置のそれぞれに少なくとも4個のネジを取り付けます。

② 各フレーム上で、少なくとも1箇所の外側のネジ位置に、2個のネジを取り付けます。

注意：この手順には、28-30インチポンドのトルクが必要です。

機器の取付

⚠ 警告

転倒注意

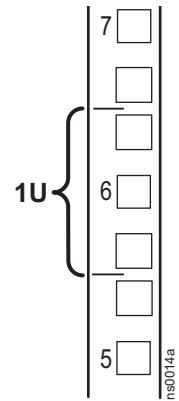
- このキャビネットは重量物ですので、機器を搭載する前にキャビネットが床に固定されているか確認してください。
 - 最初に一番重い機器を取り付けて、その後はキャビネットの下部から順番に取り付けてください。
 - スライド式レールに乗せた搭載機器は、安定性強化のためにキャビネット下部に158 kg (348 lbs) の機器を搭載するまで、またはスタビライザプレートやボルト留め金具を取り付けるまでは絶対にラックから引き出さないでください。スライド式レールから同時に複数の機器を引き出さないでください。
- これらの指示手順に従わない場合、人体の重大な損傷、死亡または機器の損傷につながるおそれがあります。

機器の取付を行うには、次の手順に従ってください。

機器メーカーの取付手順書を確認してください。

19インチマウンティングフレーム上部から下部のUスペースを確認してください。マウンティングフレームの3つの穴ごとに、Uスペースの中央を示す刻み目と識別番号が付けられています。

ケージナットを19インチマウンティングフレームの内側に取り付けてから、機器を取り付けます。



ケージナット

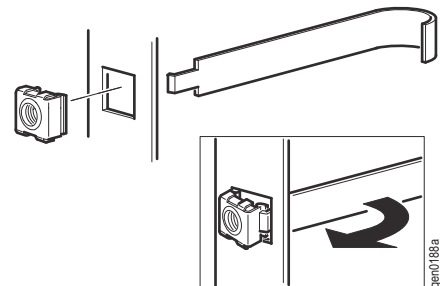
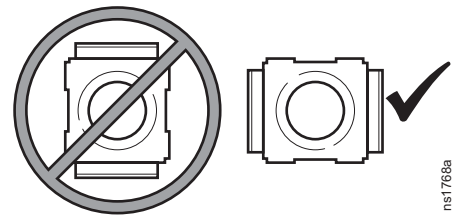
⚠ 注意

機器の落下の危険

ケージナットを四角い穴の上部や下部とかみ合わせるように垂直に取り付けてはいけません。これらの指示手順に従わない場合、人体の重大な損傷または機器の損傷につながるおそれがあります。

取り付け:四角い穴にはSchneider ElectricのCage Nut Hardware Kit (AR8100) をご使用ください。

1. 四角いホールの横に耳がかみ合うように、ケージナットを水平に取り付けます。ケージナットを四角い穴に挿入し、穴の外側に片方の耳をフックします。
注意：ケージナットは、19インチマウンティングレールの内側に取り付けてください。
2. ケージナット用ツールをケージナットのもう一方の側面に引っ掛けて合わせ、所定の位置に収まるまで引いて取り付けます。



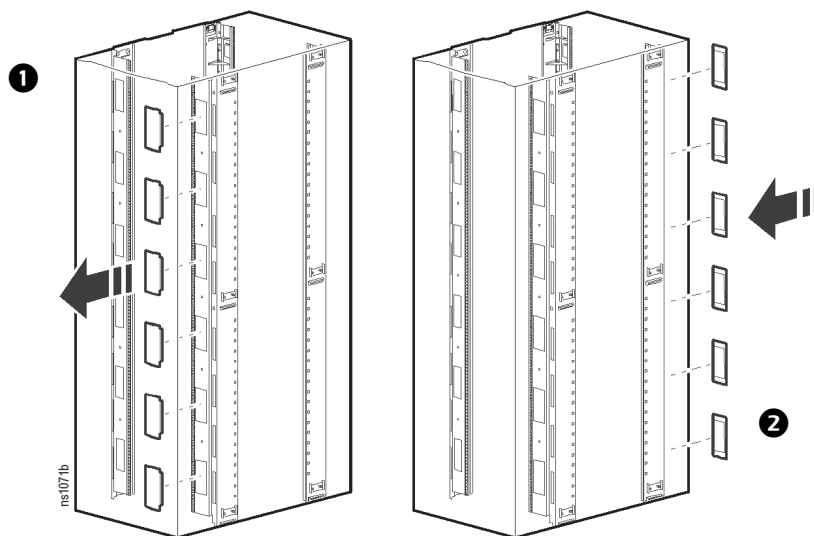
取り外し：

1. 取り付けられているネジを全て取り外します。
2. ケージナットのツメに引っ掛け、側部を締め付けて四角の穴から外します。

ケーブル用カットアウトカバーの取外し

NetShelter HS幅800 mm

(31.5インチ) キャビネットに側方通気を要する機器を搭載した場合、機器の空気取り入れ側に最も近いキャビネット側面の前面のマウンティングレールからケーブル用カットアウトカバーを取り外してください。フレームの空気取り入れ側にある背面の19インチマウンティングレールのケーブル用カットアウトの穴にカバーを再度取り付けます。



ケーブル管理

NetShelter HSキャビネットには、天板、側面、底面などにケーブルアクセス用の開口部が多数設けられています。これらの開口部から、ケーブルの配線、固定、構成を行うことができます。

さらに、キャビネット背面には0Uケーブルチャンネルまたはアクセサリチャンネルが2つ付属しています。この他のケーブル管理アクセサリも使用することができます。詳細については、www.schneider-electric.comをご覧ください。かSchneider Electricの販売店にお問い合わせください。

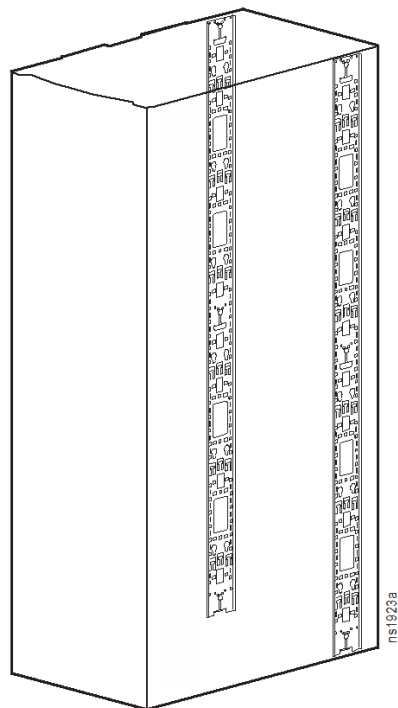
アクセサリチャンネル

アクセサリチャンネルを使用すると、Rack-mount PDUやケーブル管理アクセサリをツールを使わずに取り付けることができます。

奥行き1200 mm (47.24インチ) のキャビネットには、4つのアクセサリチャンネルが付属しています。その他のキャビネットには、2つのアクセサリチャンネルが付属しています。工場出荷時には、アクセサリチャンネルは右の図のとおりキャビネット背面に配置されています。

チャンネルはケーブルを任意の位置に取り付けることができ、複数のNetShelterブラケット、留め金具、ツールレス取り付け機器でケーブルを管理するための穴もあります。

アクセサリチャンネルは、ブレース面に沿った部位にもマウンティングフレームと同じ要領で取り付けられます。



アクセサリチャンネルの調整

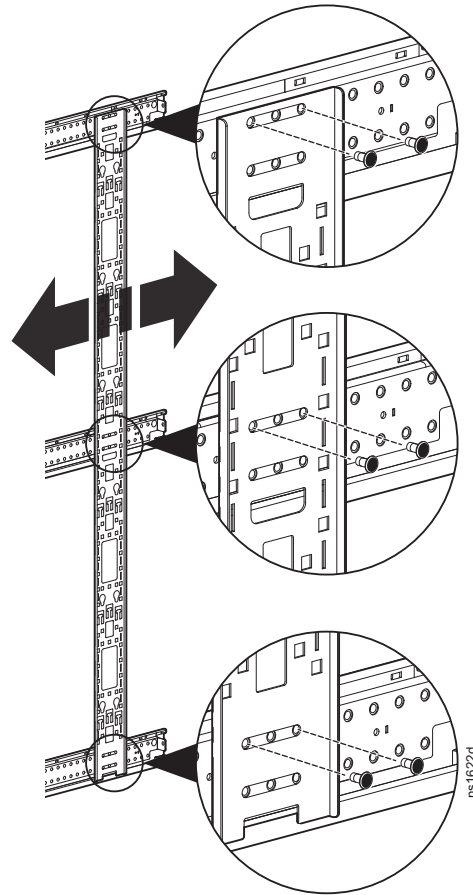
必要であれば、アクセサリチャンネルを完全に取り外すこともできます。0U垂直アクセサリチャンネルは、www.apc.comから追加注文することができます。

1. その場でアクセサリチャンネルを保持している間にT25トルクスネジを取り外します。各アクセサリチャンネルには2個のネジごとに3箇所のネジ位置があります。

注意：この手順では、28-30インチポンドのトルクが必要です。

2. アクセサリを希望の個所まで移動させます。上部、中央、下部のネジ位置が縦に揃っていることを確認します。
3. 各ネジ位置で2個のトルクスネジを再度入れて締めます。ネジの位置は変更できます。

注意：この手順には、28-30インチポンドのトルクが必要です。



仕様

寸法

	高さ		幅		奥行		キャビネットの重量 (取り付けなし)
	1991 mm (78.4 in) 42U	2258 mm (88.9 in) 48U	600 mm (23.6 in)	800 mm (31.5 in)	1200 mm (47.2 in)	1070 mm (42.1)	
AR9300SP	●		●		●		185 kg (407 lb)
AR9307SP		●	●		●		201 kg (444 lb)
AR9387SP		●		●	●		236 kg (520 lb)
AR9180SP	●			●		●	193 kg (425 lb)

風量*

	ドア開放区域				風量比		ドア穿孔部
	合計 (前面)	合計 (背面)	U当たり (前面)	U当たり (背面)	(前面)	(背面)	
AR9300SP	5501.02 cm ² 852.66 in ²	6243.56 cm ² 967.75 in ²	130.98 cm ² 20.30 in ²	148.66 cm ² 23.04 in ²	61%	69%	69%
AR9307SP	6293.19 cm ² 975.45 in ²	7080.18 cm ² 1097.43 in ²	131.11 cm ² 20.32 in ²	147.50 cm ² 22.86 in ²	61%	69%	69%
AR9387SP	9254.87 cm ² 1434.51 in ²	10072.58 cm ² 1561.25 in ²	192.81 cm ² 29.89 in ²	209.85 cm ² 32.53 in ²	90%	98%	69%
AR9180SP	8089.88 cm ² 1253.93 in ²	8804.66 cm ² 1364.73 in ²	192.62 cm ² 29.86 in ²	209.63 cm ² 32.49 in ²	90%	98%	69%

ドアのすきまからの追加風量はこの計算には含まれていません。

空間距離 (前面ドアと垂直レール間配線用) AR9300SP, AR9307SP: 61.01 mm (2.40 in)
AR9387SP: 67.36 mm (2.65 in)
AR9180SP: 65.86 mm (2.59 in)

重量定格 : 静荷重¹ 1928 kg (4250 lb)

重量定格 : 転動² 1588 kg (3500 lb)

重量定格 : 輸送 1588 kg (3500 lb)

最大据付質量 静荷重+ キャビネットの重量

安全性認証 cULus – UL 2416

¹ 静荷重が1588 kg (3500 lb) を上回る場合にはアジャスタ脚を下げてください。

² 転動定格は、キャビネットを運搬して設置する場合にのみ有効です。

限定工場保証

本限定工場保証内でSchneider Electricにより提供される限定保証は、お客様が通常の業務を対象に商用または産業用として購入された製品のみ適用されるものです。

保証の条件

Schneider Electricは、お客様のご購入日から5年間（日本国内では2年間）、製品に原材料や作業工程の欠陥が無い事を保証します。保証期間内のAPCの責任は、弊社単独の自由裁量による欠陥製品の修理または交換に限定されます。その他の損害、たとえば事故、過失、操作誤り、または製品の改竄などによる損傷に対しては、この保証はまったく適用されません。本項に記載の欠陥製品または部品の修理や交換により元の保証期間が延長されることはありません。本保証下で供給される部品は、新品または工場で作られたものである場合があります。

第一購入者の保証

本保証は、製品の登録をしかるべく済ませた当初購入者のお客様のみに対し適用されます。製品は次のサイトで登録可能です。www.schneider-electric.com

適用除外

申し立てられた製品の欠陥がAPCのテストまたは検査の結果存在しないと判明された場合、あるいはお客様または第三者の誤用、過失、不適切な設置、テストによるものであることが判明した場合、Schneider Electricは保証下での責任を負わないものとします。さらに、Schneider Electricは承認されていない修理、不正改造の試み、不適切な電源電圧または接続、不適切な現場の動作条件、腐食環境、Schneider Electric指定保守担当者でない者による修理/据付/立ち上げ、場所、運用用途、使用の変更、天災、不可抗力、火災、盗難、またはSchneider Electric推奨手順または仕様に反する据付、Schneider Electricシリアル番号が改変、摩損、削除された場合、あるいは意図された使用の範囲を超える原因によるものに対しては保証下での責任を負わないものとします。

この契約に基づき、またはここに記載された条件に同意の下で購入、サービス、設置をした製品に対し、法律の運用その他により明示的または黙示的に適用される保証事項はありません。**SCHNEIDER ELECTRIC**は、製品の市場性、満足度、特定の目的に対する適合性に関する黙示的な保証についてはすべてその責任を負わないものとします。**SCHNEIDER ELECTRIC**の明示的な保証が拡大、縮小、または影響を受けることなく、本製品に関して**SCHNEIDER ELECTRIC**が提供する技術面その他のアドバイスまたはサービスからはいかなる義務または責務も派生しないものとします。以上の保証および賠償は限定的なものであり、その他の保証や賠償すべてに代わるものです。上記の記載の保証が当該保証のあらゆる不履行に対する**SCHNEIDER ELECTRIC**の唯一の責務であり、購入者の法的救済です。**SCHNEIDER ELECTRIC**の保証は購入者のみに適用され、いかなる第三者にも拡大適用されません。

いかなる場合も、製品の使用、サービス、または設置から生じたいかなる間接的、特別、結果的、懲罰的損害についても、その損害が契約の記述または不法行為のあるなしを問わず、過失または怠慢、厳格責任に関係なく、**SCHNEIDER ELECTRIC**が事前にそのような損害の可能性を通知したかどうかに関わらず、**SCHNEIDER ELECTRIC**、同社幹部、取締役、支社、従業員はその責任を負わないものとします。特に**SCHNEIDER ELECTRIC**は、利益の損失、設備の損傷、設備の使用不能による損失、ソフトウェアの喪失、データ喪失、代替費用、第三者の主張など、いかなる損害に対しても責任がないことをここに明言します。**SCHNEIDER ELECTRIC**のセールスマン、従業員、または代理店のいかなる者も本保証の条件を追加したり、変更したりする権限を持ちません。保証の条件は、たとえ変更される場合も、**SCHNEIDER ELECTRIC**の役員と法務部の署名により書面によってのみ変更可能です。

保証の請求

保証の請求に関する問題をお抱えのお客様は、www.schneider-electric.comを参照することや、Schneider Electricのカスタマサポートのネットワークにアクセスすることができます。国選択用のプルダウンメニューから該当する国を選択してください。Webページ上部のSupportタブを開き、お客様の地域のカスタマサポートに関するお問い合わせ情報を入手してください。

ワールドワイドカスタマサポート

本製品および他の製品に関するカスタマサポートはwww.schneider-electric.comで提供されています。

© 2017 Schneider Electric. All Rights Reserved Schneider ElectricおよびNetShelterは、Schneider Electric Industries S.A.Sまたはその関係会社の所有する商標です。その他の商標はそれぞれ各社の所有物です。